

第 32 回 豊丘村リニア対策委員会

日 時 令和 8 年 5 月 20 日（火）19：00～21：20
場 所 豊丘村保健センター2 階
参加者 委員 28 名・傍聴者 10 名（内報道 5 名）
長野県 1 名・豊丘村 4 名・J R 東海 15 名（内 JV6 名）
発 言 委員▼ 長野県◇ 豊丘村○ J R 東海△

1. 開 会

2. 村長あいさつ 下平村長

3. 会長あいさつ 毛涯会長

4. 事業者関係者あいさつ 県リニア整備推進事務所：川上課長補佐 J R 東海：杉浦部長

5. 協議・報告事項

(1) 豊丘村内の工事概要・各工区の進捗状況・発生土活用壬生沢線道路改良事業

J R 東海 説明

《説明内容》別添資料

豊丘村内の工事概要：配布資料 1-2

各工区における工事の進捗状況について：配付資料 3-11

村道壬生沢線（開田～鬼の久保）道路改良事業（発生土活用）について：配布資料 12-19

【質疑】

特になし

(2) 「豊丘村内発生土置き場（本山）における環境保全について」に関する長野県からの助言について
ついでに対応方針について

県リニア整備推進事務所 説明

《説明内容》次第添付資料

長野県からの助言概要

J R 東海 説明

《説明内容》別添資料

工事の概要・事業者の対応方針（全般、水環境・土壌汚染、地形・地質・その他）

【質疑】

▼委員

ベントナイトシートの耐用年数が 200 年の根拠は。

△ J R 東海

参考としているマニュアルによるとベントナイト系遮水シートの材料であるベントナイトは自然由来の材料であり、耐用年数は半永久的とされていますが、ベントナイトの流出を保護する不織布が、覆土状況下では 200 年程度の耐用年数と言われていることからです。

▼委員

磁力選別処理の設備はシンプルなものであるが、1 ha 以上の土地が必要なのか。

△ J R 東海

磁力選別処理に必要な設備の他に、処理前の要対策土の仮置きや処理後の効果の確認など、処理前後の（要対策土の）置き場を含めて 1 ha 以上が必要となります。

▼委員

本山で磁力選別処理を採用出来ないのは、1 ha の土地が確保できないということが 1 つの理由になっている。その広さの場所が確保できないという理由がどこにあるのか。

△ J R 東海

対策工法を環境リスクの観点でも比較しており、磁力選別処理等を行うと新たに 1 ha の土地改変が必要となり、動植物等への影響の可能性があります。なお、土地の改変だけで決めるのではなく、いろいろな要素を検討した中で対策工法を選定しています。

▼委員

対策方法の総合評価で、適・不適とあるが、J R 東海の判断だけではなく、第三者の判断結果があってもいいのではないか。

△ J R 東海

第三者ということでは、中央新幹線長野県内建設発生土活用技術検討会という場を設けており、大学教授等の専門家に意見をいただき、長野県もオブザーバーとして参加し検討を進めました。客観性ということでは国交省マニュアルがあります。国交省が定めた基準に則って対策工法を検討しています。

▼委員

豊丘村内の発生土は村内で利用するという方針とあるが、いつ頃その方針になったのか教えていただきたい。

○豊丘村

本山へ発生土を置いたらとの申し入れがあり、山間部に発生土を置く事により、村内の下段に大型ダンプが通行しないなどのメリットを踏まえて決めた経過があります。

▼委員

比較検討の表中で、二重遮水工と不溶化処理には、産業廃棄物等の発生はないと記載されているが、そもそも要対策土は産業廃棄物に類する物であるので記載に疑問である。

△ J R 東海

要対策土を処理することにより新たな副産物として産業廃棄物が発生するかどうかという観点で考えた内容を記載させていただいています。

▼委員

ベントナイトシートの耐用年数が概ね 200 年と説明されたが、今後、要対策土を持ち出す予定は無いので、もっと長期的なリスクを考えていただきたい。

△ J R 東海

基本は不溶化処理をすることで重金属の溶出のリスクを下げています。さらにその周りに境界層としてベントナイトシートを設置します。ベントナイトは自然由来の材料で耐用年数は半永久的と文献にあり自己修復性がありますので、そこをリスク評価しています。

▼委員

地下水のモニタリングは、狭い範囲の水を採って確認するだけではなく、広範囲にわたり実施した方が、良いのではないか。

△ＪＲ東海

不溶化处理土の滲出水は全範囲を網羅できる形で排水管を配管して、滲出水を拾い上げるような仕組みは平面的に出来ており、本山発生土置き場全体の最下流部の調整池で取りまとめて基準超過しているかどうかを確認します。また、観測井や排水管の配置については専門家の方々に確認いただいています。

▼委員

県の助言では、地域住民等に対して丁寧かつわかりやすく説明することとありますが、本日の対策委員会の説明は、非常にわかりづらいと思います。

△ＪＲ東海

専門的な内容ではありますが、明日の説明会では、本日の説明で略したところも丁寧に出来るだけわかりやすく説明させていただきます。

▼委員

県からの助言に対してＪＲ東海の対応方針が出されました。これに対する県の見解をお伺いしたい。

◇長野県

所管が環境部になりますので、ＪＲ東海の対応方針に対する県の見解が求められたことを担当部局へお伝えします。

▼委員

環境保全計画書はいつ頃作られるのか、公表はされているのか。修正後がわかるような文書を公開すべき。

△ＪＲ東海

昨年 10 月環境保全計画書に要対策土搬入に関する内容を追加、更新し、当社のホームページで公表しています。この保全計画書の更新を踏まえた県助言を受領した。県助言の対応方針の中で一部更新、追加した箇所について差替え版として昨日ホームページで公開しています。

(3) その他

各委員からの意見・情報提供 特になし

6. 連絡事項等

＊リニア山梨実験線試験立会

令和 8 年 5 月 26 日（火）対策委員（未立会者）対象

＊小学生リニア関連施設見学会

令和 8 年 6 月 2 日（火）南北小学校 6 年生対象

＊リニア関連施設現場視察

令和 8 年 11 月 8 日（日）対策委員＋虻川下流域自治会長対象

7. 閉 会

担当：総務課 リニア対策室

問合せ先 35-3322